

意見書を県に提出します

6月定例会議に提案された意見書案は2件で、1件が全会一致で可決され県に提出されました。
可決された意見書を紹介します。

高知工科大学生及び児童・生徒を交通災害から守るため 国道195号の安全対策を講じるよう求める意見書

本市に1997年4月に開学した高知工科大学は、「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学をめざす」という高い志を掲げ、「人が育つ大学」を教育モットーに時代の先を駆ける人材づくりに大きく貢献しています。

先の「THE世界大学ランキング日本版2020」では、教育充実度四国・国公立大学第1位、全国・公立大学第6位と高く評価されています。

開学から四半世紀、県下はもとより、全国に次代を担う人材を輩出する高知工科大学の役割を鑑みた時、交通アクセスの整備と通学の安全対策は待ったなしではないでしょうか。

先日も、大学に向かう国道195号沿いの歩道で自転車同士が対面で接触し、新入学生が車道に転倒するなど重大事故につながりかねない状況も発生しています。

この区間は交通量も多く、高低差もあるため自転車やバイク等の通学には極めて危険な状況です。

よって、高知県におかれては、高知工科大学生及び児童・生徒を交通災害から守るため早急に調査し、国道195号の安全対策を講じるよう強く求めるものです。



香我美橋



土佐山田町神母ノ木バス停付近

危険な個所の一部
道幅が狭くて自転車や歩行者が危険な場所